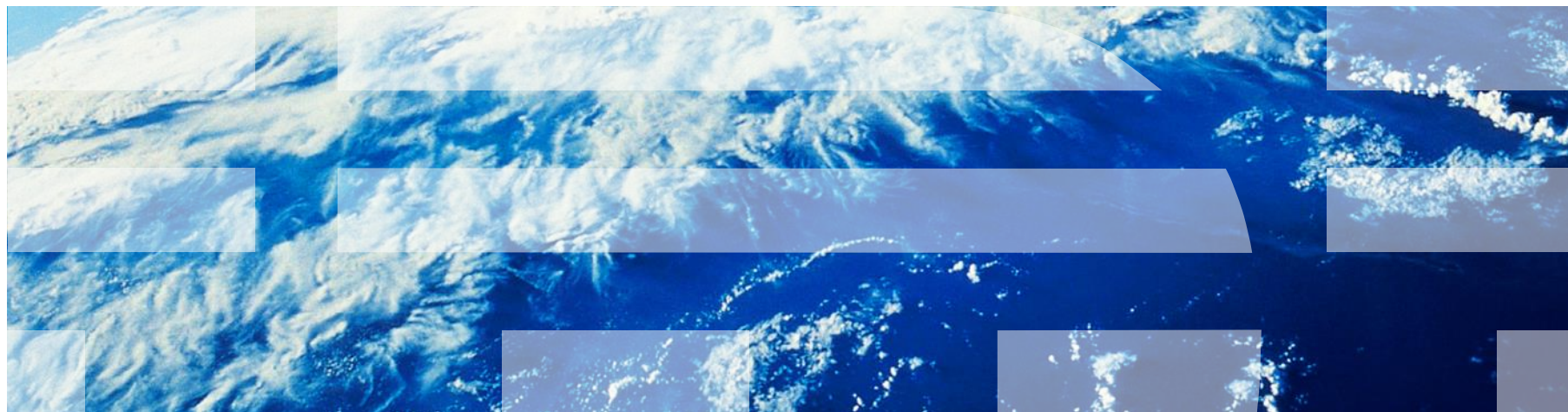


IBM Worklight Foundation V6.2.0 **入門**

リソースの再利用によるアプリケーション開発の促進



商標

- IBM、IBM ロゴ、ibm.com および Worklight は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。
- この資料は、事前に IBM の書面による許可を得ずにその一部または全部を複製することは禁じられています。

IBM® について

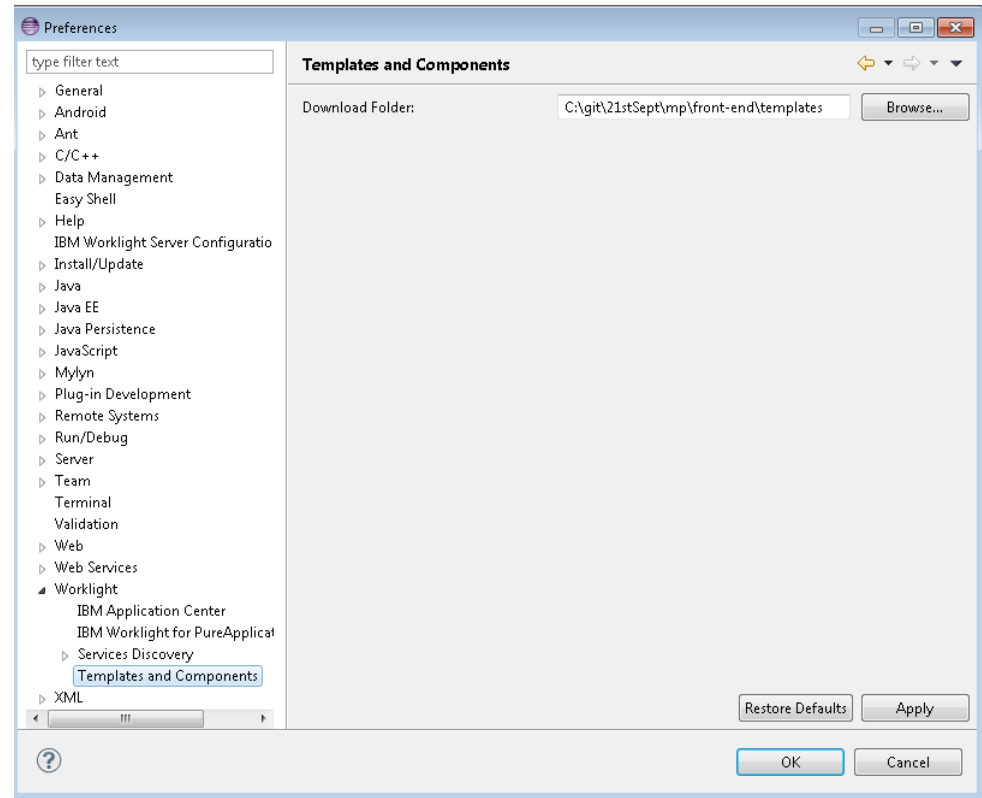
- <http://www.ibm.com/ibm/us/en/> を参照してください。

アジェンダ

- アプリケーション・コンポーネントおよびプロジェクト・テンプレート設定の構成
- アプリケーション・コンポーネント
 - アプリケーション・コンポーネントの作成
 - アプリケーション・コンポーネントの追加
 - アプリケーション・コンポーネントの削除
- Worklight プロジェクト・テンプレート
 - Worklight プロジェクト・テンプレートの作成
 - Worklight プロジェクト・テンプレートの追加
- 演習

アプリケーション・コンポーネントおよびプロジェクト・テンプレート設定の構成

- アプリケーション・コンポーネントや IBM Worklight® プロジェクト・テンプレートを追加するには、ダウンロード・フォルダーを識別する必要があります。
- このダウンロード・フォルダーにはアプリケーション・コンポーネントまたは Worklight プロジェクト・テンプレート・アーカイブのみが含まれるようにする必要があります。
- このダウンロード・フォルダーは、「設定」>「Worklight」>「テンプレートおよびコンポーネント (Templates and Components)」>「ダウンロード・フォルダー (Download Folder)」で設定します。



アジェンダ

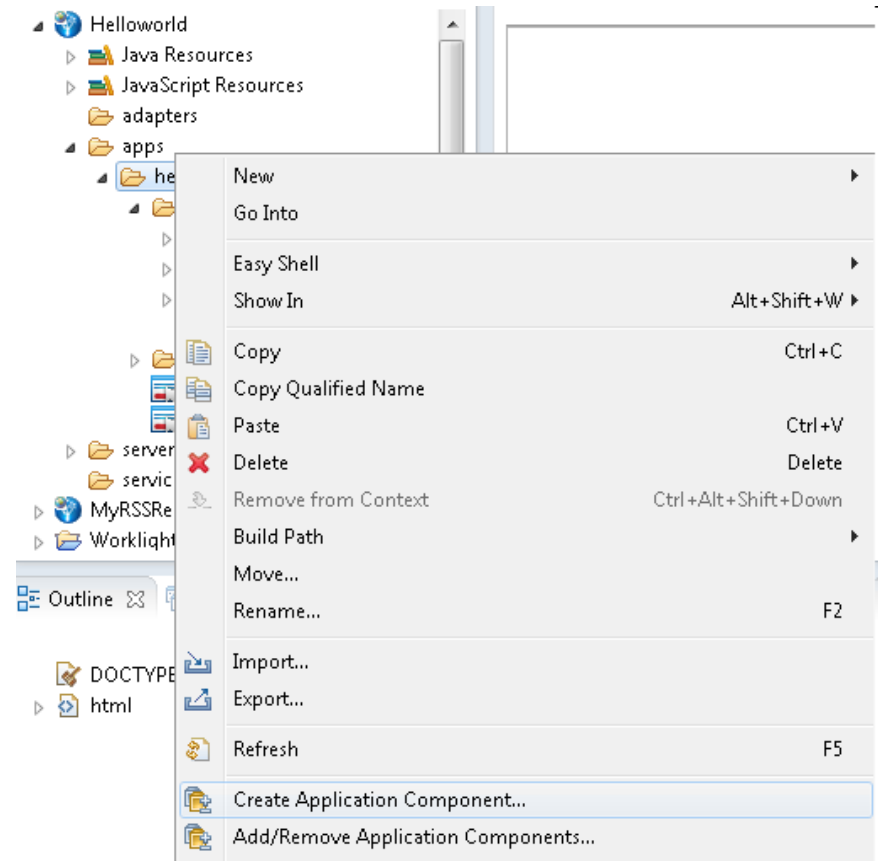
- アプリケーション・コンポーネントおよびプロジェクト・テンプレート設定の構成
- アプリケーション・コンポーネント
 - アプリケーション・コンポーネントの作成
 - アプリケーション・コンポーネントの追加
 - アプリケーション・コンポーネントの削除
- Worklight プロジェクト・テンプレート
 - Worklight プロジェクト・テンプレートの作成
 - Worklight プロジェクト・テンプレートの追加
- 演習

アプリケーション・コンポーネント

- アプリケーション・コンポーネントは、開発者が自分のアプリケーションに追加できる再使用可能なライブラリーです。アプリケーション・コンポーネントはクライアント・サイド・ライブラリーであってもサーバー・ランタイム・ブロックであってもかまいません。
- 標準的なライブラリーは、ログインや決済などの基本機能を扱う可能性があります。また、非ビジュアル・ランタイム・オブジェクト、ビジュアル・コンポーネント、統合アダプター、ユーザー・インターフェース画面パッケージなど、さまざまなエレメントが含まれることもあります。
- アプリケーション・コンポーネントは、「ウィンドウ (Window)」 > 「設定」 > 「Worklight」メニューで指定されているダウンロード・フォルダーにダウンロードする必要があります。
- アプリケーション・コンポーネントは Worklight ハイブリッド・プロジェクトのみをサポートします。

アプリケーション・コンポーネントの作成 (1/3)

- アプリケーション・コンポーネントは、Worklight ハイブリッド・プロジェクトのみを使用して作成できます。
- ユーザーは Worklight ハイブリッド・プロジェクトのリソースを自由に選択してアプリケーション・コンポーネントに組み込むことができます。
- 作成されたアプリケーション・コンポーネントの形式はアーカイブ形式です。
- Worklight ハイブリッド・プロジェクトを右クリックして、「アプリケーション・コンポーネントの作成 (Create Application Component)」を選択します。
- ウィザードによって、アプリケーション・コンポーネントの作成プロセスがガイドされます。
 - このウィザードについて詳しくは、ユーザー文書を参照してください。



アプリケーション・コンポーネントの作成 (2/3)

- ウィザードの最初のページでは、アプリケーション・コンポーネント・メタデータ情報を入力する必要があります。

Create Application Component

Create Application Component

Provide the application component metadata information.


ID: MyComponent-3791-4397-b8a5-10fd47093a66

Name: My Component

Author: IBM

Version: 1.0.0

Description: This is a sample application component.

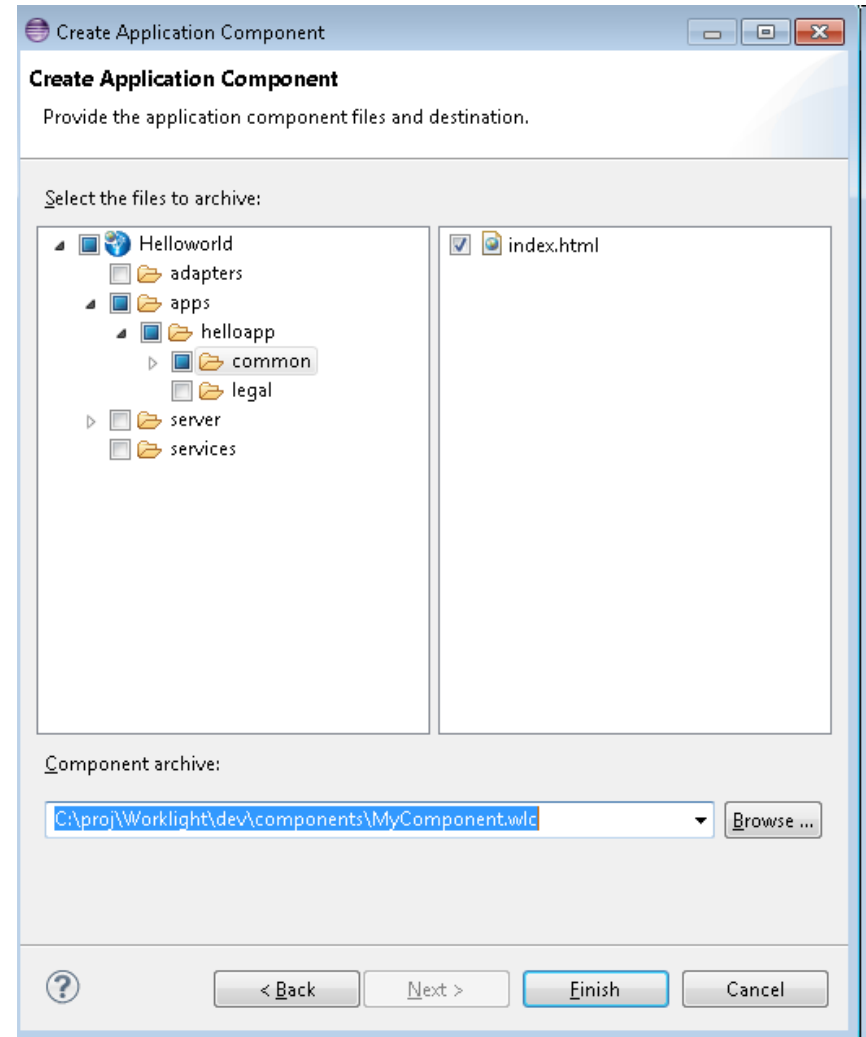
Image:  [Browse ...](#)

Application: helloapp

? < Back Next > Finish Cancel

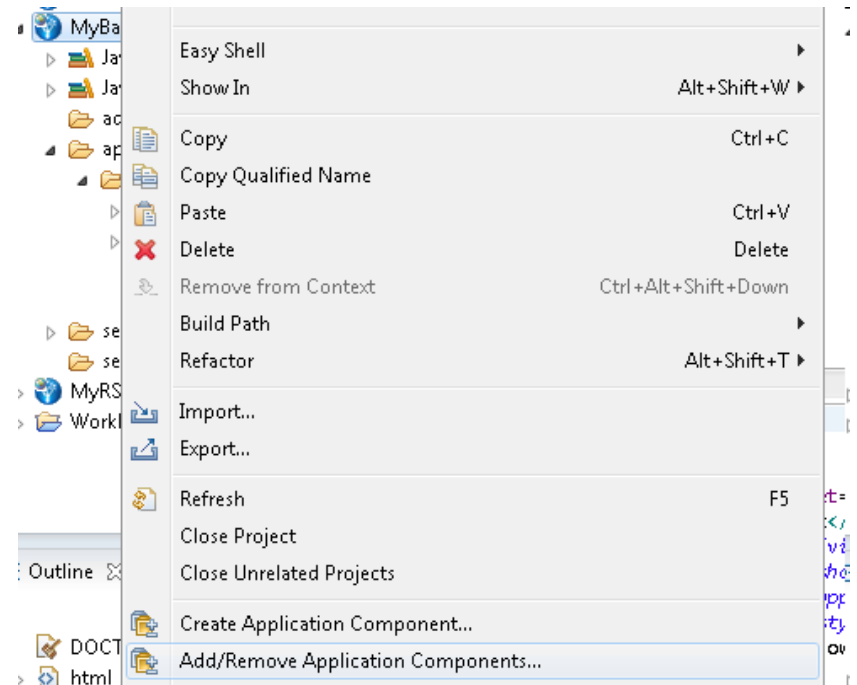
アプリケーション・コンポーネントの作成 (3/3)

- 次のウィザード・ページでは、アプリケーション・コンポーネント・アーカイブに組み込むファイルを選択するように求められます。
- アプリケーション・コンポーネント・アーカイブを作成した後で、アプリケーション・コンポーネントの使用時に自動化を有効にするためのオプション・フックを追加する場合は、ユーザー文書のセクション『アプリケーション・コンポーネントにフックを追加する』を参照してください。



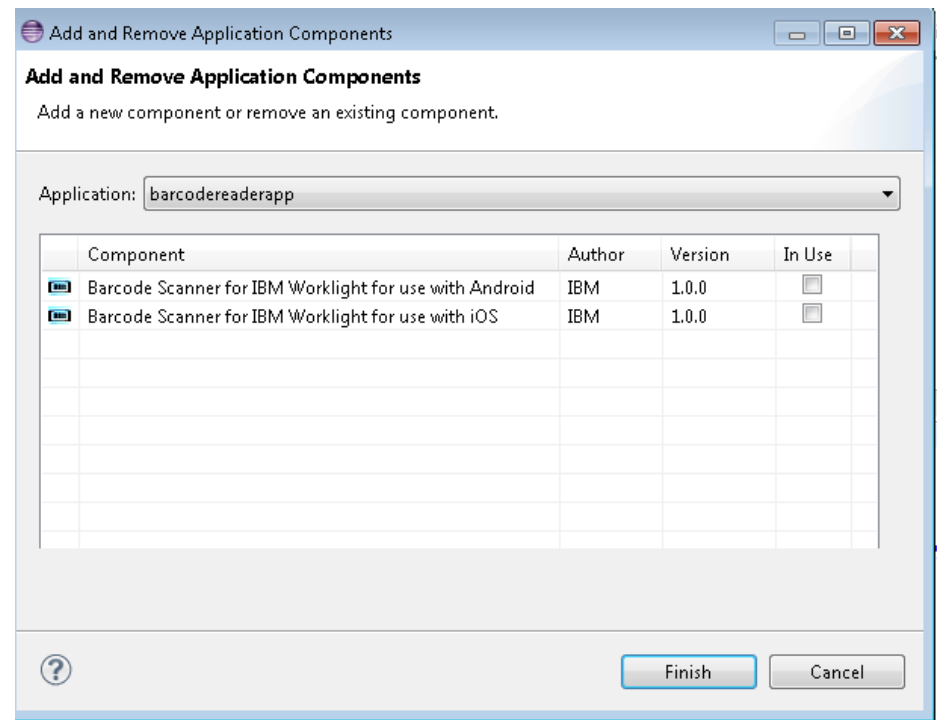
アプリケーション・コンポーネントの追加 (1/4)

- アプリケーション・コンポーネントは、Worklight ハイブリッド・アプリケーションにのみ追加できます。
- アプリケーション・コンポーネントを追加する前に、ハイブリッド・プロジェクトを作成しておく必要があります。
- アプリケーション・コンポーネントに関する基本情報が表示されます。
- アプリケーション・コンポーネントは、構成済みのダウンロード・フォルダーからロードされます。
- Worklight ハイブリッド・プロジェクトを右クリックし、「アプリケーション・コンポーネントの追加/削除 (Add/Remove Application Components)」を選択します。



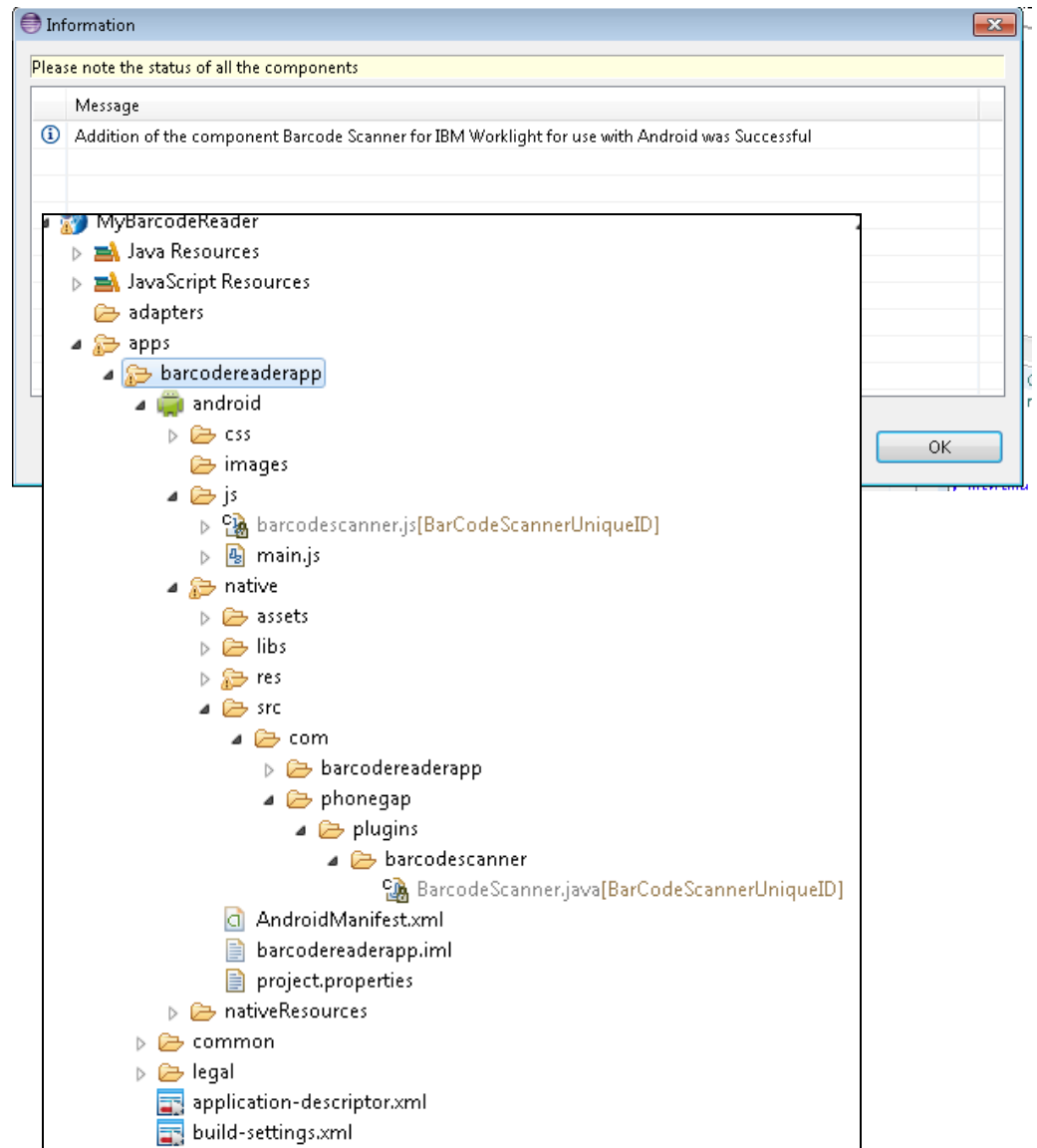
アプリケーション・コンポーネントの追加 (2/4)

- ダウンロード・フォルダー内でアプリケーション・コンポーネントがスキャンされます。
- 有効なアプリケーション・コンポーネントのみが、「アプリケーション・コンポーネントの追加および削除 (Add and Remove application components)」ウィザードに表示されます。
- 各コンポーネントが表示され、サムネール、名前、作成者、およびバージョンが示されます。
- 各コンポーネントの横にチェック・ボックスがあります。
- 選択したアプリケーション・コンポーネントが、ターゲット Worklight プロジェクトにインストールされます。



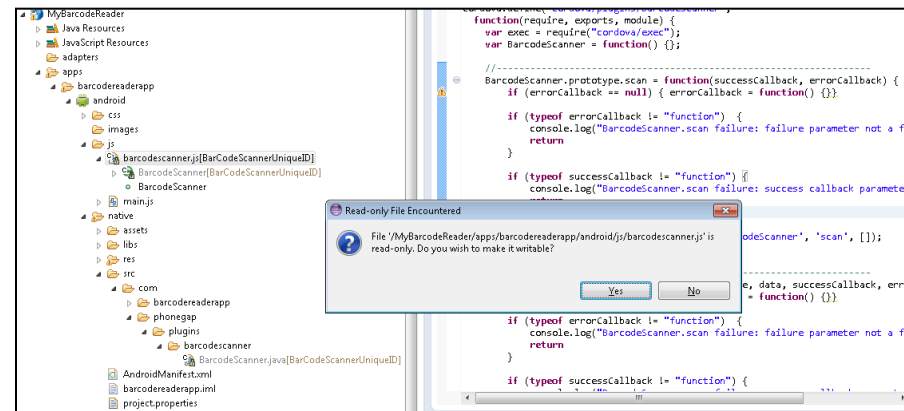
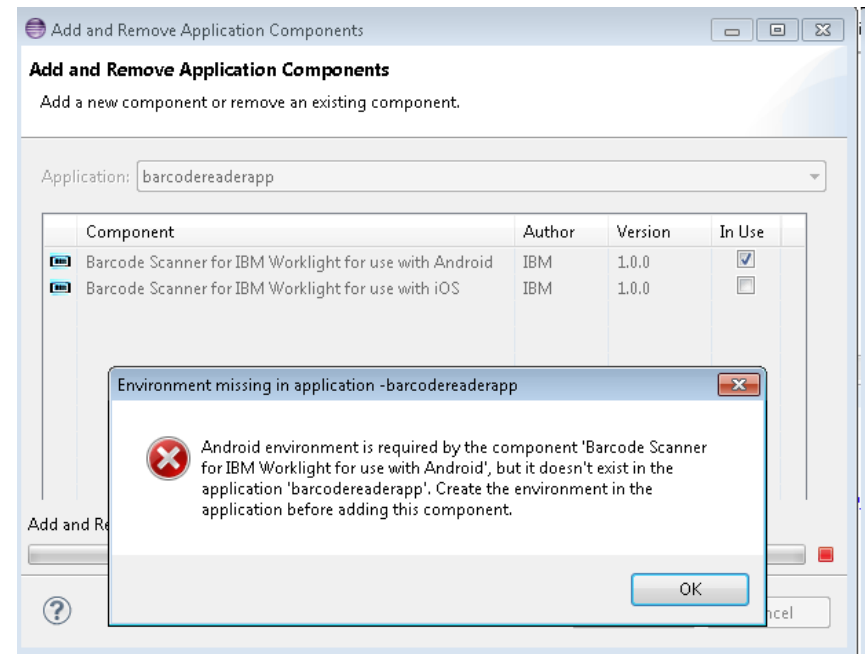
アプリケーション・コンポーネントの追加 (3/4)

- アプリケーション・コンポーネントの追加が完了すると、その追加状況が表示されます。
- コンポーネント・リソースには、アプリケーション・コンポーネントの固有 ID が付けられます。



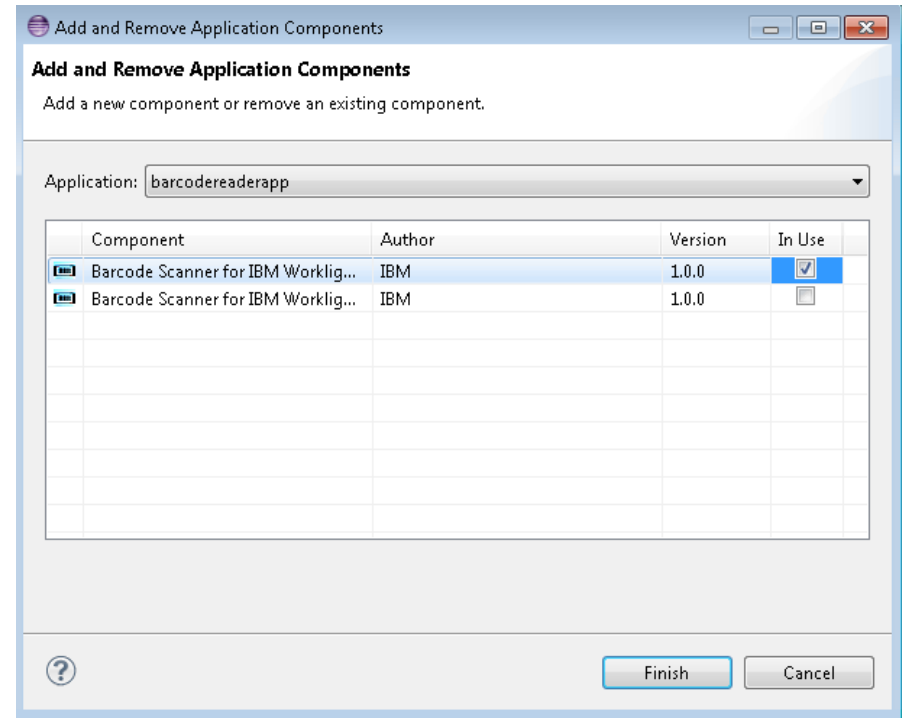
アプリケーション・コンポーネントの追加 (4/4)

- アプリケーション・コンポーネントを追加する前に、前提条件の Worklight 環境が作成されていることを確認します。その環境が作成されていないと、エラー・メッセージが表示されます。
- 必要な Android SDK が、ホストする側の Worklight Studio にインストールされていない場合は、該当するメッセージが表示されます。
- アプリケーション・コンポーネントまたは Worklight アプリケーションのコンテンツ名が変更されると、そのアプリケーション・コンポーネントとのリンクが切断されます。
- アプリケーション・コンポーネント・ファイルは読み取り専用です。このファイルは変更しないでください。



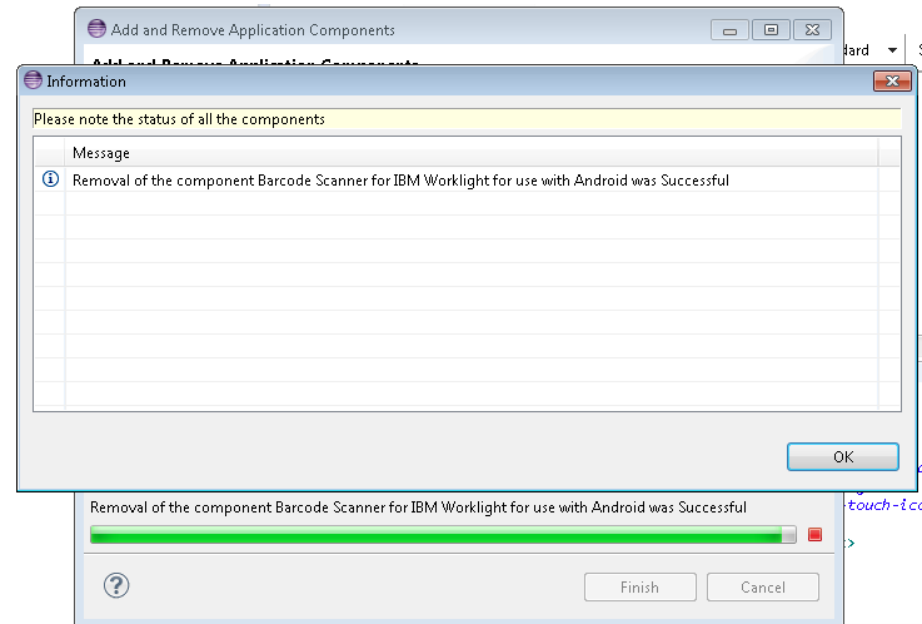
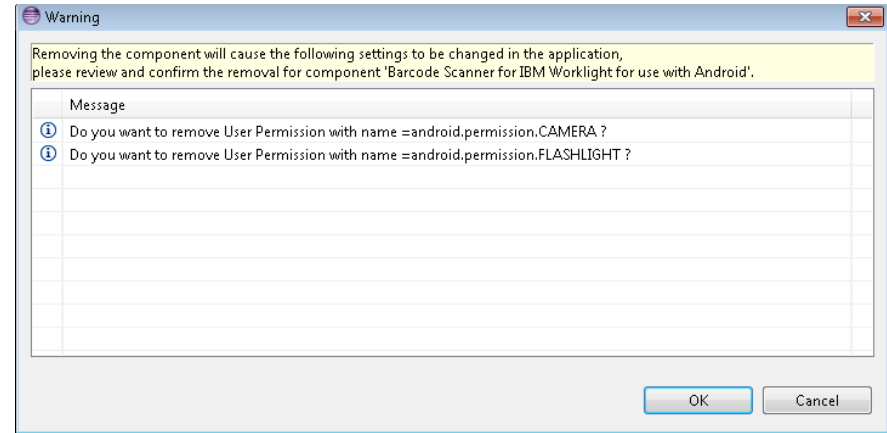
アプリケーション・コンポーネントの削除 (1/2)

- Worklight ハイブリッド・プロジェクトを右クリックし、「アプリケーション・コンポーネントの追加/削除 (Add/Remove Application Component)」を選択します。
- 対象となるアプリケーションを選択します。
- 「使用中 (In Use)」列にマークが付いている場合は、特定の Worklight ハイブリッド・プロジェクトにインストールされているアプリケーション・コンポーネントであることを意味します。
- 削除するアプリケーション・コンポーネントのマークをクリアします。



アプリケーション・コンポーネントの削除 (2/2)

- 一部のアプリケーション・コンポーネントを削除するときは、リソースをオリジナルのコンテンツにロールバックするかどうかを確認するように指示されます。例えば、UserPermission エlementを削除するときは、削除を確認するように指示されます。
- アプリケーション・コンポーネントの削除アクティビティが完了すると、その削除状況が表示されます。
- アプリケーション・コンポーネントが正常に削除されると、Worklight ハイブリッド・プロジェクト・リソースのオリジナルのコンテンツが復元されます。



アジェンダ

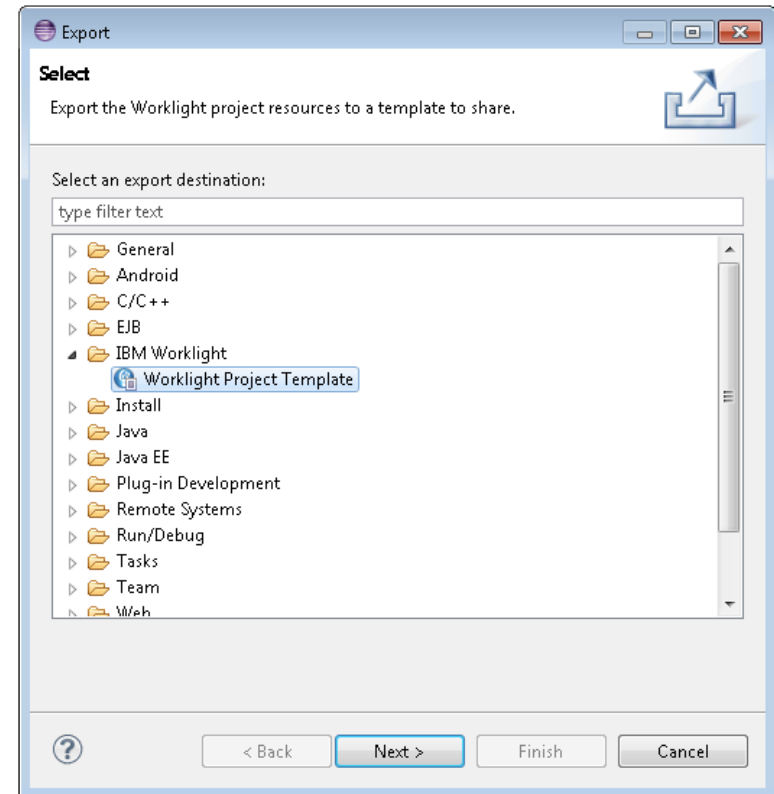
- アプリケーション・コンポーネントおよびプロジェクト・テンプレート設定の構成
- アプリケーション・コンポーネント
 - アプリケーション・コンポーネントの作成
 - アプリケーション・コンポーネントの追加
 - アプリケーション・コンポーネントの削除
- Worklight プロジェクト・テンプレート
 - Worklight プロジェクト・テンプレートの作成
 - Worklight プロジェクト・テンプレートの追加
- 演習

Worklight プロジェクト・テンプレート

- Worklight プロジェクト・テンプレートを使用すれば、アプリケーションの開発をゼロから開始する必要がないため、アプリケーションを素早く開発できます。
- Worklight プロジェクト・テンプレートを使用することで付加価値サービスを提供できます。また、ご使用の製品のルック・アンド・フィールと整合したエレメントを追加できます。
- Worklight プロジェクト・テンプレートのタイプはハイブリッド・タイプのみです。
- 新しいバージョンの Worklight で作成された Worklight プロジェクト・テンプレートは、古いバージョンではサポートされません。

Worklight プロジェクト・テンプレートの作成 (1/2)

- ユーザーは Worklight ハイブリッド・プロジェクトを再利用のためにテンプレートとしてエクスポートできます。
- Worklight プロジェクトを右クリックし、「エクスポート (Export)」 > 「IBM Worklight」 > 「Worklight プロジェクト・テンプレート (Worklight Project Template)」をクリックします。



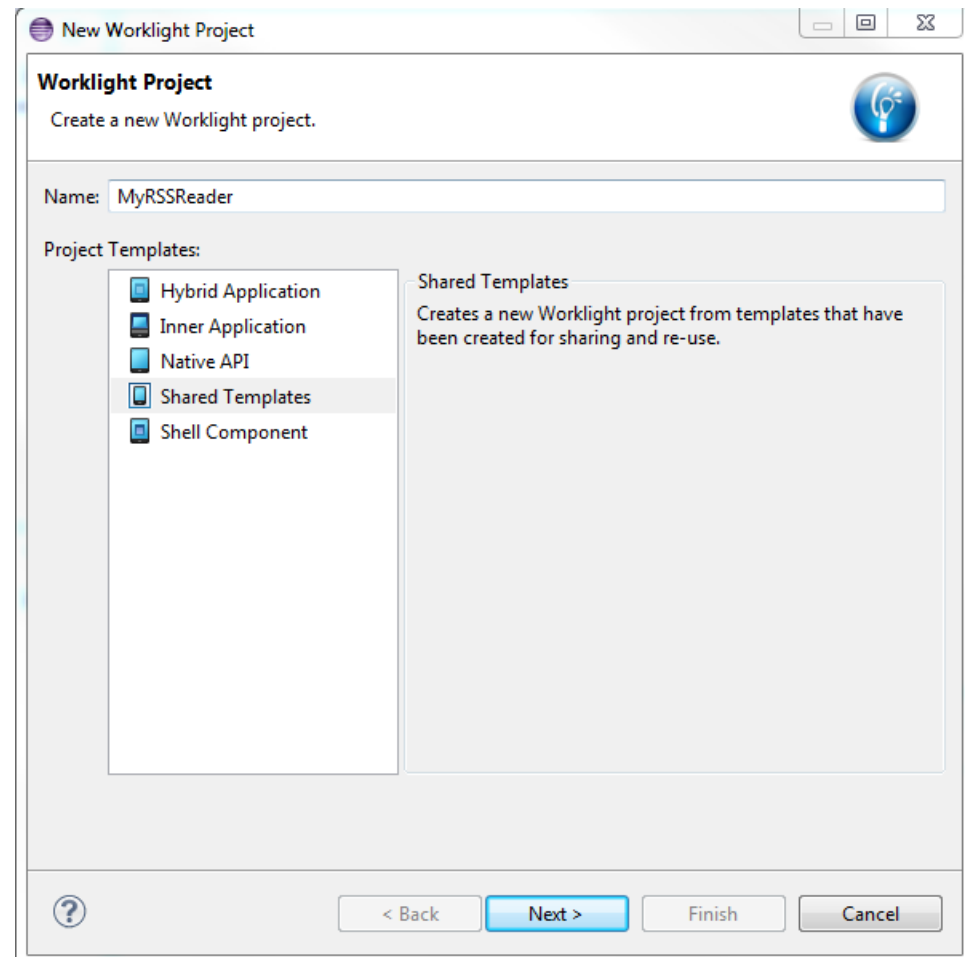
Worklight プロジェクト・テンプレートの作成 (2/2)

- 「エクスポート (Export)」 ページで Worklight プロジェクト・テンプレートに関する基本情報 (テンプレート名、作成者、説明、サムネール、テンプレート・アーカイブなど) を入力します。
- テンプレート・アーカイブの有効な拡張子は .zip および .wlt です。
- このウィザードでは、すべてのフィールドが必須です。
- テンプレート・アーカイブは、選択された場所に作成されます。
- テンプレート・アーカイブの構造については、資料を参照してください。

The screenshot shows a dialog box titled "Export" with the subtitle "IBM Worklight Project Template Export". The main text reads "Export the Worklight project resources to a template to share." The dialog contains several input fields: "Template name:" (a text box), "Author:" (a text box), "Description:" (a large text area), "Thumbnail:" (a square icon with an 'X' and a "Browse ..." button), and "Template archive:" (a dropdown menu with a "Browse ..." button). At the bottom, there are four buttons: a help icon (?), "< Back", "Next >", "Finish", and "Cancel".

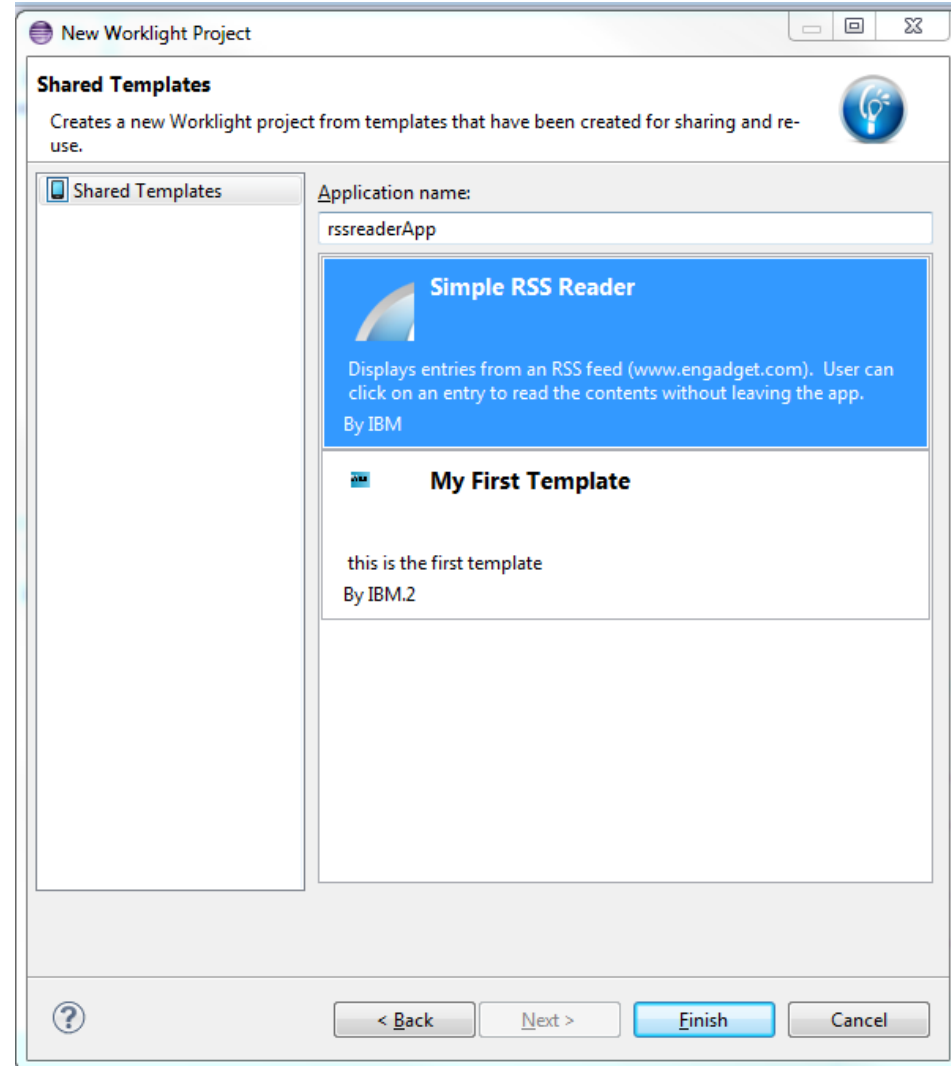
Worklight プロジェクト・テンプレートの追加 (1/3)

- テンプレートから Worklight プロジェクトを作成するには、「共有テンプレート (Shared Templates)」オプションを使用します。
- ツールバーにある「Worklight 成果物の作成 (Create a Worklight Artifact)」アイコンをクリックします。詳しくは、IBM Worklight ユーザー文書を参照してください。
- 「名前」フィールドに Worklight プロジェクトの名前を入力します。
- 「プロジェクト・テンプレート (Project Templates)」リストで「共有テンプレート (Shared Templates)」をクリックします。
- 「次へ」をクリックします。



Worklight プロジェクト・テンプレートの追加 (2/3)

- Worklight プロジェクト・テンプレートが、構成済みのダウンロード・フォルダーからロードされます (『アプリケーション・コンポーネントおよびプロジェクト・テンプレート設定の構成』セクションを参照してください)。
- アプリケーション名を指定します。
- 必要な Worklight プロジェクト・テンプレートを選択します。



Worklight プロジェクト・テンプレートの追加 (3/3)

- Worklight プロジェクト・テンプレート・アーカイブのコンテンツを使用して Worklight ハイブリッド・プロジェクトが作成されます。
- FIXME タグが存在する場合に FIXME タグを表示するには、「プロジェクト (Project)」>「プロパティ (Properties)」>「一般 (General)」>「エディター (Editors)」>「構造化テキストエディター (Structured Text Editors)」>「タスク・タグ (Task Tags)」をクリックします。
 - 「タスク・タグの検索を使用可能にする (Enable searching for Task Tags)」をクリックします。
 - 「適用 (Apply)」>「OK」をクリックします。
 - 「タスク (Task)」タブが表示され、実行すべきタスクが示されます。

The screenshot shows the 'Task Tags' configuration window. The 'Enable searching for Task Tags' checkbox is checked. Below it, there is a table with columns 'Tag' and 'Priority'. The table contains three rows: 'TODO' with 'Normal' priority, 'FIXME' with 'High' priority, and 'XXX' with 'Normal' priority. There are 'New...', 'Edit...', and 'Remove' buttons to the right of the table. Below the table, there are tabs for 'Tasks' and 'Console'. The 'Tasks' tab is active, showing '2 items' in a table with columns: !, Description, Resource, Path, Location, and Type.

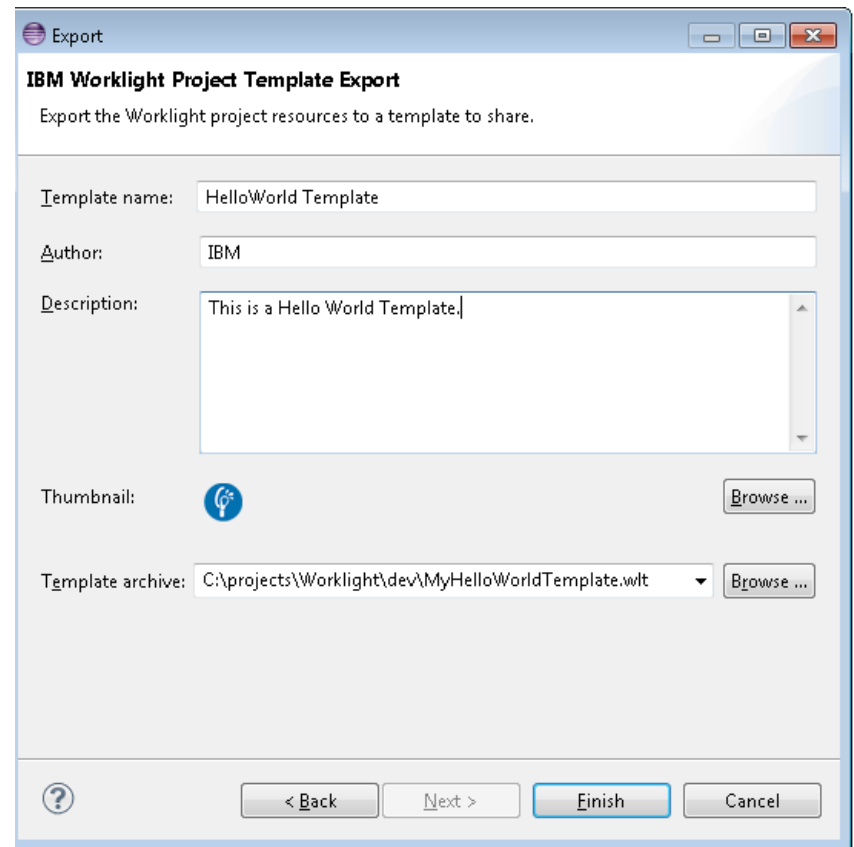
!	Description	Resource	Path	Location	Type
!	FIXME : correct the path to the RSS feed	WorklightStar...	/MyRSSReader/ada...	line 12	JavaScript Task
!	FIXME: replace with domain of target RSS feed	WorklightStar...	/MyRSSReader/ada...	line 13	XML Task

アジェンダ

- アプリケーション・コンポーネントおよびプロジェクト・テンプレート設定の構成
- アプリケーション・コンポーネント
 - アプリケーション・コンポーネントの作成
 - アプリケーション・コンポーネントの追加
 - アプリケーション・コンポーネントの削除
- Worklight プロジェクト・テンプレート
 - Worklight プロジェクト・テンプレートの作成
 - Worklight プロジェクト・テンプレートの追加
- 演習

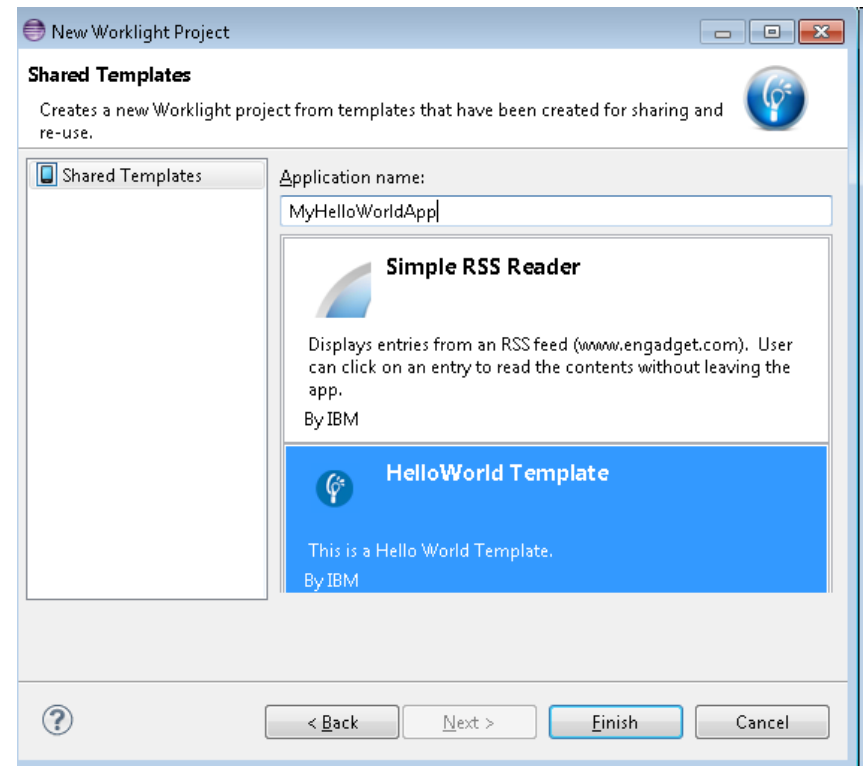
演習 - Worklight プロジェクト・テンプレート (1/2)

- 前に作成した HelloWorldApplication アプリケーションを使用します。
- `apps\HelloWorklightApp\common\js\initOptions.js` ファイルを編集します。
- 「**// FIXME: Uncomment the initialization options as required**」を追加します。
- `initOptions.js` ファイルを保存します。
- オプション「**Worklight プロジェクト・テンプレートの作成 (Create a Worklight Project Template)**」を使用して、HelloWorklight アプリケーションを Worklight プロジェクト・テンプレートとしてエクスポートします。
- 「**テンプレート名 (Template name)**」フィールドに HelloWorld Template と入力します。
- アーカイブ・コンテンツが資料の説明に合うことを確認します。
- 新しい Worklight Studio ワークスペースに切り替えます。



演習 - Worklight プロジェクト・テンプレート (2/2)

- 前に作成した Worklight プロジェクト・テンプレートをダウンロード・フォルダーにコピーします。
- 新しいワークスペースにおいて、新たに作成された Worklight プロジェクト・テンプレート・アーカイブのコピー先となるダウンロード・フォルダーを構成します。
- オプション「Worklight 成果物を共有テンプレートから作成 (Creating Worklight Artifact from the Shared Templates)」を使用します。
- Worklight プロジェクト名およびアプリケーション名を入力します。
- 「HelloWorld Template」 Worklight プロジェクト・テンプレートを選択し、「終了 (Finish)」をクリックします。
- 「タスク (Tasks)」タブを使用して、`initOptions.js` ファイルの変更方法を調べます。



	!	Description	Resource	Path
	!	FDXME : Uncomment the initialization options as required	initOptions.js	/My Hello World/apps/MyHelloWorld/common/js

演習 – アプリケーション・コンポーネント

- 前に作成した HelloWorklight アプリケーションを使用します。
- アプリケーション・コンポーネントを作成します。
- 「HelloWorklightProject」 > 「アプリケーション (apps)」 > 「HelloWorklightApp」 > 「共通 (common)」 > 「css」 を展開します。
- アプリケーション・コンポーネント・アーカイブに組み込むために HelloWorklightApp.css ファイルを選択します。
- アーカイブ・コンテンツが資料の説明に合うことを確認します。
- 新しい Worklight Studio ワークスペースに切り替えます。
- 前に作成したアプリケーション・コンポーネントをダウンロード・フォルダーにコピーします。
- 新しいワークスペースにおいて、新たに作成されたアプリケーション・コンポーネント・アーカイブのコピー先となるダウンロード・フォルダーを構成します。
- MyWorklightProject という名前でハイブリッド Worklight プロジェクトを作成します。
- オプション「アプリケーション・コンポーネントの追加/削除 (Add/Remove Application Components)」を使用して、新たに作成したアプリケーション・コンポーネントを追加します。
- アプリケーション・コンポーネントが正常に追加された後、MyWorklightProject には HelloWorklightApp.css ファイルのみが検出されます。

クイズ (1/2)

確認テストを行います。答えは次のスライドにあります。

- 文章を完成させてください: Worklight プロジェクト・テンプレート...
 - を使用すれば、モバイル・アプリケーションをゼロから開発する必要はなくなる。
 - は、開発者が自分のアプリケーションに追加できる再使用可能なライブラリーである。
 - は、ネイティブな固有のアプリケーションである。
- 文章を完成させてください: アプリケーション・コンポーネント...
 - は、ハイブリッド・アプリケーションのみをサポートする。
 - は、ネイティブ・アプリケーションのみをサポートする。
 - は、Worklight Starter アプリケーションである。

クイズ - 答え (1/2)

- 文章を完成させてください: Worklight プロジェクト・テンプレート...
 - 使用すれば、モバイル・アプリケーションをゼロから開発する必要はなくなる。
 - は、開発者が自分のアプリケーションに追加できる再使用可能なライブラリーである。
 - は、ネイティブな固有のアプリケーションである。
- 文章を完成させてください: アプリケーション・コンポーネント...
 - は、ハイブリッド・アプリケーションのみをサポートする。
 - は、ネイティブ・アプリケーションのみをサポートする。
 - は、Worklight Starter アプリケーションである。

クイズ (2/2)

確認テストを行います。答えは次のスライドにあります。

- Worklight ウィザードで Worklight プロジェクト・テンプレートおよびアプリケーション・コンポーネントがロードされないのは、次のうちのどの場合ですか。
 - ダウンロード・フォルダー内に Worklight プロジェクト・テンプレートもアプリケーション・コンポーネントも存在しない場合。
 - 無効な Worklight プロジェクト・テンプレートやアプリケーション・コンポーネントがダウンロード・フォルダー内に存在する場合。
 - ダウンロード・フォルダーが構成されていない場合。
 - 上記の解答すべて。
- Worklight プロジェクト・テンプレートとアプリケーション・コンポーネントの違いは、次のうちのどれですか。
 - Worklight プロジェクト・テンプレートはハイブリッド・アプリケーションのみをサポートするが、アプリケーション・コンポーネントはハイブリッド・アプリケーションをサポートしない。
 - Worklight プロジェクト・テンプレートはスターター・アプリケーションであり、Worklight プロジェクト・テンプレートを使用すれば、モバイル・アプリケーションをゼロから開発する必要はなくなる。一方、アプリケーション・コンポーネントは再使用可能なライブラリーである。
 - これらの間に相違はない。

クイズ - 答え (2/2)

- Worklight ウィザードで Worklight プロジェクト・テンプレートおよびアプリケーション・コンポーネントがロードされないのは、次のうちのどの場合ですか。
 - ダウンロード・フォルダー内に Worklight プロジェクト・テンプレートもアプリケーション・コンポーネントも存在しない場合。
 - 無効な Worklight プロジェクト・テンプレートやアプリケーション・コンポーネントがダウンロード・フォルダー内に存在する場合。
 - ダウンロード・フォルダーが構成されていない場合。
 - 上記の解答すべて。
- Worklight プロジェクト・テンプレートとアプリケーション・コンポーネントの違いは、次のうちのどれですか。
 - Worklight プロジェクト・テンプレートはハイブリッド・アプリケーションのみをサポートするが、アプリケーション・コンポーネントはハイブリッド・アプリケーションをサポートしない。
 - Worklight プロジェクト・テンプレートはスターター・アプリケーションであり、Worklight プロジェクト・テンプレートを使用すれば、モバイル・アプリケーションをゼロから開発する必要はなくなる。一方、アプリケーション・コンポーネントは再使用可能なライブラリーである。
 - これらの間に相違はない。

特記事項

- これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。
- 本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。
- 本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。
- IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権（特許出願中のものを含む）を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。
 - 〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

- 以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。
- この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。
- 本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。
- IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。
- 本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム（本プログラムを含む）との間で情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。
 - IBM Corporation
Dept F6, Bldg 1
294 Route 100
Somers NY 10589-3216
USA

- 本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。
- 本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。
- IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

著作権使用許諾:

- 本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほめめしたり、保証することはできません。
- それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。
 - © (お客様の会社名) (西暦年) このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。© Copyright IBM Corp. 年を入れる。 All rights reserved.

プライバシー・ポリシーの考慮事項

- サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的な事項を確認ください。
- このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、(アプリケーション・サーバーが生成する) セッション情報を収集するセッションごとの Cookie を使用場合があります。これらの Cookie は個人情報を含まず、セッション管理のために要求されるものです。加えて、匿名ユーザーの認識および管理のために持続的な Cookie が無作為に生成される場合があります。これらの Cookie も個人情報を含まず、要求されるものです。
- この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』(<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。

サポートおよびコメント

- IBM Worklight の一連の文書、トレーニング資料、および質問をポストできるオンライン・フォーラムはすべて、次の IBM Web サイトからご覧になれます。
 - <http://www.ibm.com/mobile-docs>
- サポート
 - ソフトウェア・サブスクリプション & サポート (ソフトウェア・メンテナンスと呼ばれる場合もあります) は、パスポート・アドバンテージおよびパスポート・アドバンテージ・エクスプレスから購入されたライセンスに含まれています。International Passport Advantage Agreement および IBM International Passport Advantage Express Agreement の追加情報については、次のパスポート・アドバンテージ Web サイトを参照してください。
 - <http://www.ibm.com/software/passportadvantage>
 - ソフトウェア・サブスクリプション & サポートが有効になっている場合、IBM は、インストールおよび使用法 (ハウツー) に関する短期間の FAQ に対するサポートや、コード関連の質問に対するサポートを提供します。詳しくは、次の IBM ソフトウェア・サポート・ハンドブックを参照してください。
 - <http://www.ibm.com/support/handbook>
- ご意見
 - 本資料に関するご意見をお寄せください。本資料の具体的な誤りや欠落、正確性、編成、題材、または完成度に関するご意見をお寄せください。お寄せいただくご意見は、本マニュアルまたは製品の情報、およびその情報の提示方法に関するもののみとしてください。
 - 製品の技術的な質問および情報、および価格については、担当の IBM 営業所、IBM ビジネス・パートナー、または認定リマーカーターにお問い合わせください。
 - IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。IBM またはいかなる組織も、お客様から提示された問題についてご連絡を差し上げる場合にのみ、お客様が提供する個人情報を使用するものとします。
 - どうぞよろしく願いたします。
 - 次の IBM Worklight Developer Edition サポート・コミュニティにご意見をお寄せください。
 - <https://www.ibm.com/developerworks/mobile/worklight/connect.html>
 - IBM からの回答を希望される場合は、以下の情報をご連絡ください。
 - 氏名
 - 住所
 - 企業または組織
 - 電話番号
 - Eメール・アドレス

ありがとうございました

